

No. 732

今週の焦点

ついに来た原子力空母

—佐世保—

米原子力艦隊の入港をめぐって、賛否に揺れ動く「平和都市」佐世保。ベトナム戦に直接参加している世界最大の原子力空母エンタープライズ寄港に反対する野党各派や総評など革新陣営は「70年闘争」の前しょう戦として大挙佐世保に集結。中でも「第三の羽田」をめざす反日共系全学連は、角材や石で武装したとも警官隊と流血の衝突を繰り返し、学生、市民など多数の負傷者を出すという事態となりました。

こうした中で1月19日朝、エンタープライズは2隻の駆逐艦を従えてその黒い巨体を佐世保港に現わしました。

39年、原潜シードラゴンが佐世保へ初入港、そして41年にはついに首都圏横須賀へ入港してしまい、極東戦略上の「原子力艦隊基地」の確保をめざして、これまでに19隻の原潜が寄港。日米安保体制強化と日本国民の核アレルギー解消への効果をねらって、日常化した原潜の寄港から今回のエンタープライズの入港となったのです。

空母の入港は、二年後にひかえた安保へ向ってきびしい幕あけとなったのです。